

# 絆

学校便り12月号

日置市立生橋中

きずな

令和3年12月15日



## 小学校は育む，中学校は鍛える

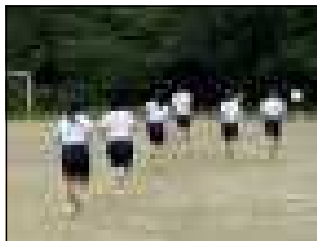
校長 井之上 良一

もう10年以上も前の話になりますが，ある方から「小学校は育む，中学校は鍛える」と添え書きされた年賀状をいただいたことがあります。その時，この言葉は中等教育に求められていることを一面でうまく言い当てているように思いました。（もちろん，小学校段階の教育においても「鍛える」ということは大切な方法原理であり，同様に中学校においても「育む」ということはすぐれて重視しなければならないものです。）

ところで，学校教育の中で，「鍛える」教育の代表的なものと言えば，やはり部活動が筆頭に挙げられると思います。多くの，特に体育系の部活動では，技術や体力の鍛錬とともに服装やあいさつ，返事やお礼の言い方など礼節についてもかなり厳しい指導が行われているものと思います。そしてこのような鍛錬の過程では，容赦のない叱責や否定が子どもたちを待ち受けているはずですが。

このような教育の有り様は，以前取り上げたことのある「自己肯定感」を育むといったこととは異なる原理に立つものと考えられます。というのも，「自己肯定感」を育むことが主体性や自律性，自己存在感の涵養に作用しているのに対して，「鍛える」ということは，どちらかと言えば社会性を身に付けさせたり，忍耐力を養ったりすることに作用していると考えられるからです。

例えば，忍耐力は自分を否定されるなどして，「思い通りにならない」，「わがままが許されない」，あるいは「我慢を強いられる」といった状況を肌で経験することを通して身に付いていくものです。忍耐力を涵養する教育の具体例として，本校でも行われている「朝のランニング」があります。本校の場合，体調不良等の特別な事情がない限り，必ず参加しなければなりませんし，加えて10分以上走り続けるか，もしくは10周以上走ることが求められています。慣れないうちは，それぞれ自分との戦いであり，毎朝，弱い自分との対話を余儀なくされます。しかし，とにかく続けていくうちに，走る習慣のようになり，だんだんと苦さが軽減され，時には心地良ささえ感じるようになることができます。



「朝のランニング」風景

こうした心境に至るには，周囲の頑張りや励ましに負うところが大きいわけですが，間違いなく個人の限界点は上がっています。つまり，耐性が育ってきているわけです。

日々，早朝から生徒や職員が校庭を走っている姿を見るにつけ，心肺機能を鍛えて全身持久力を向上させるという所期の目的に加えて，副次的に生み出されるものの大きさについて考えさせられます。

さて，近年，個性の尊重や主体性の重視といったことがよく論じられてきました。いわゆる「自発性の原理」に立つ教育の大切さについてです。私自身も教育活動を企図する際には，基本的にこうした考え方に依拠しています。

しかしながら，子どもたちが将来，自己実現を図っていく上で社会性や忍耐力といった資質がいかに重要なものであるかを考えれば，「鍛える」ことを主眼とした教育も決して軽んじてはならないものだと思っています。

『祖国とは国語』という著書の中で，藤原正彦さんは子どもの個性と忍耐力との関係について次のように言及しています。

「子供の個性のほとんどは悪い個性であり，それを小学生くらいまでのうちに正すのがしつけであり教育である。この厳しい過程の中で，子供は傷つくことを繰り返しながら，我慢力を身につける。家庭教育と学校教育は，機を見て個性を踏みこむことから始まる。」

子どもは，時として自己中心的な存在でもあります。この自己中心性に気づかせ，他者を意識させ，社会性を育てるところに教育の意義の一つがあります。そのことを認識した上で，家庭でも学校でも子どもに厳しく接すべきところは避けてはならないということが言いたいのだと思います。

教育の要諦として，よく「七つ褒めて三つ叱る」ことが肝要だと言われます。確かに，やる気や意欲，自信を引き出す観点から褒めることは極めて大切なことです。しかし，子どもに真に自立心や耐える力を養おうと思えば，「三つ叱る」ことの大切さにも思いをいたす必要があります。

以前，NHKで放映された番組（「道場六三郎 80歳の挑戦 ～食を変え続けた男の真剣勝負～」）の中で，実に印象的な場面がありました。それは，日本料理の達人として知られる道場さんが弟子の仕事ぶりを容赦なく叱りつけている場面です。人情味あふれる温かな人柄からはおよそ想像がつかない厳しい姿がそこにはありました。そして，番組の終わりの方で，料理人一筋の人生を振り返りながら発せられた言葉は，「知恵もなければ，技もない。僕にあるのは思いやりだけ。」というものでした。この思いやりが料理や食材はもとより弟子たちにも向けられているとしたら，その厳しさの意味を噛みしめてみる価値は大きいのではないのでしょうか。



講演中の道場さん

## 人権教室 12/3

今年度の人権教室は、性的マイノリティに係る人たちの人権について学習しました。

性のあり方については、「身体の性」、「心の性」、「好きになる性」の3つの要素から見つめると、いかに多様であるかが分かり、LGBTに代表される性的マイノリティが特別な存在ではないことを学びました。

トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致せず、身体の性に違和感を持つ人)については、生まれるときに原因があり、特別なことではないことを理解した後に、作文を通して当事者の思いにも触れてもらいました。

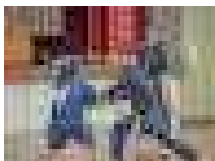
今後も機会を捉えて少しずつ学習を深めていきたいと思えます。(以下は生徒の感想です)

・身体が女性だっただけで、自分が男性になれないと思ったとき、周囲に対して自分の本当の姿が出せないことに悲しさを感じた。人を見た目で判断してはいけないし、人から言われたことは心に残る。

・この話を聞いて、近くにいるわけではないと思って傷つけることもあると思った。「自分の口から一度出た言葉は、もうもどすことができないんだよ。」この言葉がさきりました。

## 剣道授業 10/8~12/10

本校昭和36年度卒業生で、県下中学校剣道大会で連覇を続けた時代に活躍された大先輩である飯屋基美先生を地域指導者としてお招きして3年目を迎えました。中学3年生は、1年時より御指導いただき、技術面はもとより、礼儀や姿勢などの面でも格段の成長が見られるようになっていきます。



今年度は、2時間連続の授業を組み、試合形式の授業を多く実施していただきました。来年度も更に充実した剣道の授業になることと楽しみにしております。

今年度で3回目の剣道は、今まで習ってきたことを最大に行おうと思いました。私は飯屋先生がおっしゃっていた「何か1つでも続けなさい」という”継続は力なり”がとても心に残っています。最後の試合が1番楽しかったです。引き面が決まったときは、すごく気持ちよくて最高でした。3年間御指導ありがとうございました。剣道のこともこれからの人生のことも考えさせられるそんな時間でした。私にとって、これからの生活に役立つことばかり学べて良かったです。

## 校旗贈呈式 12/7

全校朝会の時間を使って新しい校旗の贈呈式が行われました。

ご存じのように、50周年時につくられた校旗は傷みが目立つようになっていましたが、同窓会を中心とする地域の方々のお支援により、新しいものに新調していただきました。

当日は、保護者や地域の方々から10名ほど出席していただき、同窓会代表の方から生徒会長に贈呈が行われました。その後、同窓会の代表の方から子どもたちにメッセージを頂きました。



最後に御礼の気持ちを込めて校歌を斉唱しました。感謝の気持ちを忘れず、末永く大切に使用させていただきたいと思えます。

## ありがとうございます

### 友愛タオル贈呈

日置市高齢者クラブ連合会伊集院支部様から、今年もタオルをいただきました。大切に使用させていただきます。

## おめでとうございます

### 令和3年度第2回英語検定

準2級合格	3年	さん
4級合格	2年	さん
	2年	さん

### 令和3年度第2回漢字検定

準2級合格	3年	さん
3級合格	3年	さん
5級合格	1年	さん
	1年	さん
	1年	さん
	1年	さん
6級合格	1年	さん

### 日置市児童生徒読書感想文コンクール

特選	2年	さん
入選	3年	さん
	1年	さん

租税教育「学校賞」受賞  
租税教育の推進により、2年連続「学校賞」を受賞しました。

## 校内持久走大会 12/11

今年も好天に恵まれ、持久走大会が実施されました。少々緊張しながらも、小学生や保護者、地域の皆様の応援に後押しされて全員が最後まで走り抜くことができました。



結果は、全員が試走よりも良いタイムでゴールし、本番で素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。朝のランニングの取組など日々の継続と鍛錬の賜だと思います。

終了後は、恒例の豚汁とおにぎりがふるまわれ、舌鼓を打ちました。また、地区館から、おいしい餅の差し入れもいただきました。

地域・保護者・学校の協働によってすばらしい持久走大会になりましたことに感謝を申し上げます。

(生活の記録より)今日は持久走大会がありました。今日までずっと緊張していて本番で実力を出せるか心配でした。まずは、小学生の応援をしました。開会式が終わり、アップをしてスタートしました。最初はとても軽く走れていましたが、途中で何度も坂があつてきつかったです。しかし「悔いが無いように全力で走る」という目標に向けて最後の力を出して走りました。辛かったですが良い思い出になりました。

日	曜	1月の主な行事予定
1	土	(祝)元日
4	火	仕事始め
10	月	(祝)成人の日
11	火	始業式 身体測定 書き初め
12	水	3年生実力テスト 巡回図書(ひよしまる)
18	火	1・2年生鹿児島学習定着度調査(～19日)
20	木	教育相談・カウンセリング
21	金	第3回英語検定
22	土	科学の祭典日置市大会
25	火	P T A評議員会
26	水	巡回図書(ひよしまる)